



一乗小だより

深く考える子
進んで取り組む子
思いやりのある子

福井市一乗小学校 第103号
令和8年3月13日発行
TEL 43-2024 FAX 43-2025
E-mail : itijo-e@fukui-city.ed.jp

第118回卒業証書授与式

3月10日、第118回目の卒業証書授与式が行われ、6年生5名が卒業しました。

式中は、卒業生の態度はもちろんですが、在校生の態度がとても良かったです。話の聞き方だけでなく、入退場の拍手から、お辞儀の仕方、歌声やお別れの言葉まで、全てにおいて素晴らしい態度で式に臨んでいました。みんなの気持ちが卒業生に伝わり、会場にいる全ての人のため、いつまでも心に残る卒業式になったと思います。

これから、しばらくは1年生から5年生までの12名の生活になりますが、充実した毎日になるようにみんなで協力して過ごし、今年度を終えるようにしましょう。

式の中では大切なお話がありましたが、その中で、公民館長さんからの「中学校に行っても地域のことを忘れずにがんばってほしい」というお話や、PTA会長さんからの「自分のなまえを大切に、自分のなまえを呼んでくれる人のことを忘れずにいてください」というお話が特に心に残りました。卒業という節目には、卒業生に関わる人たちの思いの深さに気付かされることがあります。その思いを忘れず、大切にして、これからの人生を歩んでいくことは大切です。在校生の皆さんも、いろんな人の思いに触れ、それを自分のこれからの生活に生かして行ってほしいと思います。



卒業証書授与



式辞



地域代表お祝いのことば



記念品授与



保護者代表お祝いの言葉



お別れの言葉



最後の学活



記念品贈呈

20世紀の予言 1901年1月2、3日新聞記事から

卒業式の式辞で「20世紀の予言」について少し触れましたが、ここで23の全ての予言について紹介します。明治時代当時の日本語で書かれていますので、どんな予言なのか想像しながら考えてみてください。

■「二十世紀の予言」

★見出しは現代語で

(明治34年(1901年)1月2・3日付新聞)

十九世紀はすでに過ぎ去り、人々も社会も新しい二十世紀という舞台上に登場した。十九世紀の世界の進歩は驚くべきもので、物質面では「蒸気の時代」「電気の時代」と呼ばれ、精神面では「人道の時代」「女性の時代」という名称もある。では、さらに一歩進んだ二十世紀の社会は、どのような姿を見せるのだろうか。

この30～40年のあいだにも、フランスの作家ジュール・ヴェルヌのように、二十世紀を予言するような小説を書き、読者の喝采を浴びた人物もいる。もし十九世紀の進歩の勢いがこのまま増していくなら、今は不思議に思われる事柄が、いずれ当たり前のことになるかもしれない。

いま、その大きな時代の幕開けに立ち、未来を遠く見通してみても楽しくないわけではない。

世界情勢の変化はひとまず脇に置き、ここでは物質文明の進歩について想像してみたい。

20世紀の予言	①無線電信及電話	②遠距離の寫眞	③野獸の滅亡
④サハラ砂漠	⑤七日間世界一周	⑥空中軍艦空中砲臺	⑦蚊及蚤の滅亡
⑧暑寒知らず	⑨植物と電氣	⑩人聲十里に達す	⑪寫眞電話
⑫買物便法	⑬電氣の世界	⑭鐵道の速力	⑮市街鐵道
⑯鐵道の聯絡	⑰暴風を防ぐ	⑱人の身幹	⑲醫術の進歩
⑳自動車の世	㉑人と獸との會話自在	㉒幼稚園の廢止	㉓電氣の輸送

問い 全部で23項目の予言の中から、次の文はそれぞれ“何”を予言したものでしょうか？

①無線電信及電話	電信のみならず無線電話は世界諸國に聯絡して東京に在るものが倫敦紐育にある友人と自由に對話することを得べし
②遠距離の寫眞	數十年の後歐洲の天に戰雲暗澹たることあらん時東京の新聞記者は編輯局にみながら電氣力によりて其状況を早取寫眞となすことを得べく而して其寫眞は天然色を現象すべし
⑧暑寒知らず	新器械發明せられ暑寒を調和する爲に適宜の空氣を送り出すことを得べし
⑩人聲十里に達す	傳聲器の改良ありて十里の遠きを隔てたる男女互に婉婉たる情話をなすこと
⑪寫眞電話	電話口には對話者の肖像現出するの装置あるべし
⑫買物便法	寫眞電話によりて遠距離にある品物を鑑定し且つ賣買の契約を整へ其品物は地中鐵管の装置によりて瞬時に落手することを得ん
⑮市街鐵道	馬車鐵道及び鋼索鐵道の存在せしことは老人の昔話にのみ残り電氣車及び壓窄空氣車も大改良を加へられて車輪はゴム製となり且つ文明國の大都會にては街路上を去りて空中及び地中を走る

解答欄

①
②
⑧
⑩
⑪
⑫
⑮



回答 QR コード



正解は Teams で発表

一乗なんでも情報館

《校訓の完成》昭和13年に校歌とともに制定された校訓が5・6年生の手により完成、体育館に設置されました。今までは校庭の隅にひっそりと校訓碑がありましたが、これからはみんなの活動を見ているかのように校訓額があります。校訓に込められた思いを大切に、みんなで力を合わせて充実した学校生活を過ごしてほしいと思います。

《ハロー・ワールド特別編》ALTの訪問日に、ちょうどALTの家族が来日しているということで、一乗小にも寄っていただきました。思いがけず、ハロー・ワールド以来の交流会となりました。今回は子どもたち1人ひとりの発表など、取り組んできたことを見てもらいました。子どもたちは初対面でもすぐに仲良くて、打ち解けていました。



..... 切り取り

学校へのご意見や感想をお知らせください。

こちらからも可 →→→

年 名前

(無記名でも構いません)

